

天竜林材業振興協議会

令和5年度 モニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	13	20	23	19	15	11	9
計							110

2 考察

- 報告内容から、つるを残した適切な伐倒や掛り木の処理についてのコメントが多く見受けられており、昨年度以上に安全面に対する意識の向上が感じられた。また全体的に「森林作業共通仕様書」に基づいた、適切な作業が実施されている。
- 一方、昨年度及び一昨年度に続き、モニタリングや様式の理解に乏しいサイトや、様式の「コメント」や「総括」欄の記載内容が乏しいサイトもある。
- また、本年度も伐開幅の広さについては、殆どのサイトが注意してモニタリングを実施しているのに対し、伐開幅の検討を踏まえて修正した新様式を使用していない事例も見受けられた。今後、FSC 担当者と作業員、モニタリング実施者との連携を密にし、適切な様式を使用し、指摘事項に対応したモニタリングの実施を徹底したい。
- 食害に対する意見も多く見られており、防護柵や単木ネットを設置した箇所の多くは食害を防ぐことが出来ているなど、食害対策として効果的であることが伺える。本モニタリングの実施を通じて、効率的な森林作業に繋がることを期待したい。

3 備考

- ※ 各サイトの結果については、別紙資料1～9のとおり。

(資料1)

令和5年度 春野サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	4	2	4	5	4	1	1

2 特記事項

- (1) 植林・地拵え
- ・ 防護柵や単木ネットの設置や忌避剤の仕様により、概ね食害を防ぐことが出来ている。設置の無い箇所では食害も見られているため、食害が予測される箇所への防除措置の徹底を図る必要がある。
 - ・ 施業に支障のない広葉樹等を残しておく意識が足りていない施業箇所も見られたため、施業者への注意喚起が必要。
- (2) 下刈り・つる切り・枝打ち
- ・ 下刈りは、苗木を傷つけず、全体的に刈り残しもなく、丁寧に行われていた。また下層植生の確保もされており、林地保全意識の高まりを感じた。
 - ・ 枝打ちは、幹に沿って樹皮を剥がさないよう、適切に行われていた。
- (3) 除間伐
- ・ 全体的につるを残した伐倒が行われている。
 - ・ 掛り木になった場合、ロープで引っ張って倒すなど、作業効率よりも作業安全を意識した施業が行われている。
- (4) 伐採・搬出
- ・ 適切な伐採が施業されているため、林内の日当たりも良くなっており、今後の成長も期待できる。
 - ・ 間伐と同様、全体的につるを残した伐倒を実施しており、安全面に配慮した施業が行われている。
- (5) 林道網
- ・ 適切な伐開幅で林道が作られており、残土発生も抑えられている。
 - ・ 必要な箇所には水切りの設置も行われている。

3 考察

- 報告から苗木の食害対策として、防護柵や単木ネットの設置が効果的であることが伺える。 今後は植栽時の柵等の設置について、より徹底していただきたい。
- 一方、下刈りや林道の整備等、全般的に安全に配慮された丁寧な施行が見られており、今後もFSC担当者と現場作業員との密な情報共有を通じて、より良い森林管理が実現することに期待する。

4 備考

(資料2)

令和5年度 水窪サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	0	1	1	1	1

2 特記事項

- (1) 植林・地拵え
(2) 下刈り・つる切り・枝打ち
(3) 除間伐
※ 該当なし

(4) 伐採・搬出

- ・ 効率の良い林道作成が行われており、施業においても残存木が傷つかないように行われているなど、集材・環境どちらにも配慮した施業が行われている旨、報告された。
- ・ 切り株につるを残すなどのガイドラインに沿った施業が行われている。また応急手当の道具を常に持ち歩くように徹底するなど、施業者の安全面への意識向上が見られる。

(5) 林道網

- ・ 作業道のルートを踏査して選定し、障害のない場所を選んでいる。また道路の崩壊を防ぐため、抜いた根株を盛土に埋め込むといった対策を講じている旨、報告された。
- ・ 伐開幅の検討を踏まえて修正した新様式を使用していない。FSC 担当者と作業員、モニタリング実施者との連携を密にし、適切な様式を使用し、指摘事項に対応したモニタリングを実施されたい。

3 考察

- 昨年度指摘された安全面への改善を意識した施業が伐採・搬出、林道網の作成どちらにおいても行われている。今後も急傾斜地が多い水窪サイトでは一層安全面へ配慮した施業の実施を検討いただきたい。

4 備考

(資料3)

令和5年度 佐久間サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	1	2	1	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ つるを残した適切な伐倒や、掛り木もロープ等を使用して適切に処理しており、安全面への配慮が見られる。
- ・ 植栽後2回目の間伐であり立木の優劣がはっきりしてきたため、効率的に選木して作業が出来ている。

(4) 伐採・搬出

- ・ 効率的な路線選定により、作業路開設の低コスト化を目指している。また今後の施業についても低コストで行えるような作業路としている。

(5) 林道網

- ・ 事前の現地調査を伐採業者、運搬業者、県森連それぞれが必ず1度実施し、作業中の変更については再度現場確認を行うなど、安全面を重視して作業している。

3 考察

- 佐久間サイトのモニタリングは、サイト担当職員だけでなく、サイト監事も同行して現場を訪問する手法でグループ唯一。第三者からの意見も伺える効果的・効率的な方法だと思料。
- 事前調査による効率的な作業路の作成がされているだけでなく、急峻な斜面に無理な勾配の道は設置しない等の安全面も考慮されている。

4 備考

(資料4)

令和5年度 龍山サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	3	3	2	3	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 過去に苗の食害を受け、捕植した箇所は苗の大きさにばらつきが出てしまうため、小さい苗は誤って切ってしまうないように、十分注意して作業を行っていることが見受けられる。他の地域でも考えられる案件であり、共有していきたい。
- ・ 台風等の影響もあり、防護柵の一部補修作業を行っている。定期的な見回りの実施は食害対策としても有効であり、今後も継続していただきたい。

(3) 除間伐

- ・ 足場が悪い、近隣で電線が通っているなど、現場ごとに注意すべき点が異なるが、それぞれ条件にあった安全な伐採方法をミーティングで周知するなど、安全管理への意識向上が見られる。

(4) 伐採・搬出

- ・ 全体的につるを残した適切な伐倒が行われており、昨年度に受けた指摘を意識した施業が行えていることが伺える。
- ・ 車両系を用いた間伐及び搬出により効率的な施業を行っているだけでなく、雨の影響でぬかるみやすい道には石を敷くなど、安全面への意識も感じられる。

(5) 林道網

- ・ 以前、指摘を受けた伐開幅について、適切な広さであった旨が報告されている。今後も作業員への指示を徹底するよう求めていく。
- ・ 作業道が急勾配にならないように計画を立てており、効率化が図られている。また排水がうまく機能するように水切りの箇所を工夫して行うなどの配慮も見られた。

3 考察

- 各項目において、安全性と効率性を高めるための工夫が見られる。急峻な地域特性を踏まえ、安全性については引き続き、最大の注意を払い実施されたい。

4 備考

(資料5)

令和5年度 天竜サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	4	8	4	4	4	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- 野生動物が多く生息する地域であり、食害防止を目的とした防護柵の設置が適切に行われている様子が報告された。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 急傾斜地での下刈りは地表を保護する観点から潔癖な下刈りを控える等の配慮が見られる。
- 8 m程度の高さまで枝打ちを実施している。適切かつ丁寧な作業により、枝の少ない、スラっとした森林を形成することが出来ている。

(3) 除間伐

- 伐採木は等高線沿いにきれいに片付けることを徹底しており、土止め効果にも期待できる。
- 腐り、曲がり等の劣勢木を選木して優先的に伐倒している。

(4) 伐採・搬出

- 全体的につるを残した適切な伐倒が行われている。また、雪が積もる日は現場を中断するなど安全に対する意識向上が伺える報告がされた。
- 適切な間伐により、林内に光が入ることによって今後の下層植生が見込まれ、森林の機能向上が期待できる。また伐採後は積極的な搬出も行っている。

(5) 林道網

- スイッチバックが多い箇所については排水できる施工をし、雨水が下の路面まで流れないようにしたり、現地発生岩を破碎のうえ、路面に敷均し、路面の軟弱化を防ぐなどの工夫が凝らされている旨、報告された。
- 昨年度同様、指摘事項にある伐開幅の検討を踏まえて修正した新様式を使用していない。FSC 担当者と作業員、モニタリング実施者との連携を密にし、適切な様式を使用し、指摘事項に対応したモニタリングを実施されたい。

3 考察

- 写真からも各作業非常に丁寧な作業が実施されていると推測される。
- 森林組合が作業する箇所に加えて、森林所有者が直接作業する箇所も散見されるため、組合員と森林所有者との密なコミュニケーションがFSCの原則を遵守していく上で、必要不可欠であると思料。

4 備考

(資料6)

令和5年度 引佐サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	3	4	3	1	2	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 各チェック項目に注意して作業しており、適切な感覚を開けて上下作業を避けた作業を行っている。

(3) 除間伐

- 適切な管理により、下層植生が回復するために必要な光が入る森林となっている。
- つるを残した適切な伐採を行っており、掛り木についても都度、熟練者に相談する等の安全に対する配慮が見られた。

(4) 伐採・搬出

- 造材機の使用時には作業道付近の木にカバーを設置する、危険個所に対して改良指示を行うなど、残木に対する配慮を行っている。

(5) 林道網

- 小面積の集合体のため、作業道の延長を抑えて潰れ地を少なくすることを意識して、計画及び事業実施を行っている旨、報告された。
- 法面付近の残木の保護に配慮した施業を行っている。

3 考察

- 全体的に各チェック項目に則った施業がされており、安全性、効率性、環境への意識の向上が読み取れる。
- 昨今は集中豪雨的に大雨が降ることも珍しくないため、特に安全面には注意した作業実施をお願いしたい。

4 備考

(資料7)

令和5年度 市有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	2	0	0	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 仕様書や整備計画等を遵守した施業を行っており、つるを残した適切な伐倒も実施されている。

(4) 伐採・搬出

※ 該当なし

(5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 適切な方法で環境にも配慮した事業実施が伺えた。
- ただ、総括欄の記載内容が同様。各現場において、状況や配慮する環境面等は異なるはずであり、もう一步レベルアップしたモニタリングの実施が期待される。

4 備考

(資料8)

令和5年度 県営林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	2	1	0	2	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 作業中の林内でも伐木や枝葉が整理され、土砂の流出防止を図っている。
- ・ 安全訓練時にはヒヤリハット体験が作業員間で共有されるなど、安全意識の向上が感じられる。

(4) 伐採・搬出

- ・ 昨年度はつるを残した安全に配慮した伐倒が行われていない現場が報告されていたが、今年度はそういった箇所の報告はされていない。

(5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 全体的に丁寧な施業がされているだけでなく、昨年度指摘をいただいたつるを残した施業についても徹底されている。これはサイト管理者の注意により、サイト全体で意識が共有されている成果と見受けられる。

4 備考

(資料9)

令和5年度 国有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	5	4	3	1	1	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ 契約完了時の検査や聞き取り、出来高写真等により適切な作業が実施されていることを確認。
- ・ 防護柵等の設置も行い、獣害対策も徹底している。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 契約完了時の検査や聞き取りなどにより適切な作業が実施されていることを確認。

(3) 除間伐

- ・ 契約完了時の検査や聞き取りなどにより適切な作業が実施されていることを確認。特に山火事予防については契約時にも注意喚起を実施するなど対策が徹底されている。

(4) 伐採・搬出

- ・ 契約完了時の検査や聞き取りにより適切な作業が実施されていることを確認。
- ・ つるを残した適切な伐倒がされており、安全面への意識向上が読み取れる。

(5) 林道網

- ・ 設計や仕様書の内容を遵守し、適切な作業が実施されている旨が報告された。

3 考察

- 契約完了時の検査や関係者への聞き取りにより、作業の適切性が確認された。
- 施業前のリスクアセスメントを行い、それぞれの現場で起きたヒヤリハットを共有するなど、同じような事故が起きないように今後も注意して施業いただきたい。
- 今後のモニタリングにおいては、更なる森林管理に対する意識や技術の向上のため、過去の指摘事項（掃除伐減少、伐開幅等）への現在の対応や地域的なテーマ等を意識した国ならでの実施、報告内容を期待する。

4 備考